

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成26年10月2日(2014.10.2)

【公表番号】特表2013-524801(P2013-524801A)

【公表日】平成25年6月20日(2013.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2013-032

【出願番号】特願2013-505514(P2013-505514)

【国際特許分類】

A 0 1 D 34/73 (2006.01)

【F I】

A 0 1 D 34/73 1 0 4

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年8月12日(2014.8.12)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

刈払用回転ヘッドの側壁内に設けられたオリフィスを貫通して該刈払用回転ヘッド外部に半径方向に延在できるような形で該刈払用回転ヘッド内部に設置可能な可撓性の刈払用ワイヤーストランドを使用する刈払用回転ヘッドであって、一方では原動機の駆動シャフトに対する結合用手段（6）と、他方では刈払用回転ヘッドの外側ケース（1）と回転的に連動し、該外側ケースの内部に係合された刈払用ストランド（3）の締結機構（16、17）を支持する締結機構支持体（2）とを有する刈払用回転ヘッドにおいて、

該締結機構が、互いにおよび刈払用回転ヘッドの回転の軸心（A-A）に対して平行な平面内で旋回できる状態で取付けられたカム（17）を有すること、および、締結機構支持体（2）が刈払用回転ヘッドの外側ケース（1）内で軸心方向に並進運動できる状態で取付けられ、この外側ケースと締結機構支持体（2）とが相補的に配置され、こうして前記外側ケース（1）と前記締結機構支持体（2）とに対し反対方向（F1、F2）の相対的な軸心方向の運動を同時に印加すること；

ー 刈払用ストランドの位置づけ、送り出しまたは取出しを可能にするような形でカム（17）を持ち上げるかまたは；

ー 刈払用回転ヘッド内での刈払用ストランドの固定を行なうべく前記カム（17）を低下させることが可能になることを特徴とする、刈払用回転ヘッド。

【請求項 2】

外側ケース（1）と締結機構支持体（2）とは、前記外側ケース（1）と外側ケースの内部に収納された締結機構支持体（2）とに対する収束的な軸心方向の運動（F1）の同時印加が、刈払用回転ヘッドの内部における刈払用ストランドの導入、摺動、位置づけまたは送り出しを可能にするようにカム（17）を持ち上げできるようにするために使用され、一方前記外側ケースと前記締結機構支持体（2）とに対する発散的な軸心方向の運動（F2）の同時印加が、前記カム（17）を低下させて刈払用回転ヘッド内での刈払用ストランドの固定を実現できるようにするよう配置されていることを特徴とする、請求項 1 に記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 3】

外側ケース（1）と締結機構支持体（2）とについての収束的な相対的軸心方向の運動（F1）が外側ケース（1）の手作業による軸心方向移動によって得られることを特徴と

する、請求項 2 に記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 4】

外側ケースと締結機構支持体（2）とについての発散的な相対的軸心方向の運動（F 2）が弾性復元手段の作用下で自動的に得られ、こうして、刈払用回転ヘッド内に位置づけされた後の刈払用ストランドの自動的固定が可能となっていることを特徴とする、請求項 2 または請求項 3 に記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 5】

弾性復元手段が、外側ケース（1）の内部間仕切りと締結機構支持体（2）の間に間置され圧縮作用を及ぼすバネ（8）により構成されていることを特徴とする、請求項 4 に記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 6】

締結機構支持体（2）が、外側ケース（1）の入口開口部（4）の正面で刈払用回転ヘッドの回転の軸心（A-A）の両側で平行に配置された刈払用ストランド（3）の案内用および位置づけ用の通路（16）を二本含んでおり、これらの通路（16）各々の入口部分が露出され、この露出部分と対面してカム（17）が取付けられており、このカムは、前記露出部分の方向にその挟持用表面（17A）を押し当てるためのバネ（18）の作用を受け、こうして位置づけ用通路内に係合した刈払用ストランド（3）をこの通路の底部に対し強く圧迫し、こうして前記刈払用ストランドを確実に固定しており、外側ケース（1A-1B）内には、該外側ケースの上部間仕切り（7）と連動しカム（17）を押し戻し旋回させることを可能にするスラストフィンガー（20）が備わり、こうして、外側ケースと締結機構支持体が前記外側ケースの上部間仕切り（7）と締結機構の支持体（2）の上部面を接近させるための収束的な圧迫力を受けた場合に、刈払用ストランド上のこのカムの圧迫を除去するようになっていることを特徴とする、請求項 1～5 のいずれか一つに記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 7】

結合用手段が、動力に結合されることができ軸心方向の駆動シャフト（6）を有し、このシャフトが、締結機構支持体（2）と回転的に連動していることを特徴とする、請求項 1～6 のいずれか一つに記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 8】

駆動シャフト（6）が、締結機構支持体（2）を貫通し、前記シャフトの貫通部分（6A）および締結機構支持体（2）内に設けられた軸心方向の通路（15）が、刈払用回転ヘッドの回転駆動を可能にするように適応された相補的断面形状を形成することを特徴とする、請求項 1～7 のいずれか一つに記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 9】

外側ケース（1）の側壁には、刈払用ストランド（3）の導入用開口部（4）およびそれらに対面して具備された使用済みまたは損傷を受けたストランドの引抜き用開口部（10）が備わっており、これらの開口部が、前記外側ケースの回転の軸心（A-A）に対し平行に配向された細長い形状を形成していることを特徴とする、請求項 1～8 のいずれか一つに記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 10】

締結機構支持体（2）と外側ケース（1A-1B）とには、外側ケース（1）の上部間仕切り（7）と連動しかつ刈払用回転ヘッドの回転の軸心に対し平行に配向された駆動用スタッド（12）を用いて実現された回転結合用相補的手段が具備されており、これらの駆動用スタッドは、摺動できる状態で、前記締結機構支持体（2）内に設けられた溝（13）の中に係合されていることを特徴とする、請求項 1～9 のいずれか一つに記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 11】

外側ケース（1）の側壁（5）の下位部分とスライドカップ（1B）の円形上部部分には、相補的保持用手段（22、23、24、35～42）が備わり、これらの手段の組立てには、両部材間の相対的な軸心方向の運動とそれに続く前記保持用手段の相補的部材を

嵌合させることのできる制限された振幅の回転運動のみが必要であることを特徴とする、請求項 1～10 のいずれか一つに記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 12】

外側ケース（1）の上部部分（1A）とスライドカップ（1B）の組立手段が、一方では、外側ケース（1）の上部部分（1A）の円筒形側壁の内部表面の円形下縁部（21）付近でこの下縁部に沿って、直径方向に相対する丸味のついた肩部（22）を少なくとも二つ、そして他方では、スライドカップ（1B）の軸心に対し平行に延在し、この軸心の方向に配向されたロック用ツメまたは突起（24）を備えた自由端部を有する直径方向に相対するフック用突片（23）を少なくとも二つ含むことを特徴とする、請求項 11 に記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 13】

各肩部（22）の端部の一つに配置され、スライドカップ（1B）を組立て位置に設置する際にロック用ツメまたは突起（24）の回転運動を制限するストッパー（25）を含むことを特徴とする、請求項 12 に記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 14】

ツメ（24）の縁部およびツメの丸味のついた肩部（22）には、外側ケース（1）の上部部分（1A）とスライドカップ（1B）との組立ての際に、回転運動の終りでロックする相補的ロック手段が備わっていることを特徴とする、請求項 12 または請求項 13 に記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 15】

前記相補的ロック手段が、肩部（22）の上部面が形成するピン（26）と、組立て用回転運動の終りでこのロック用ピンが自動的に係合するツメ（24）の外縁部に具備されたノッチ（27）とによって構成されていることを特徴とする、請求項 14 に記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 16】

外側ケース（1）の上部部分（1A）とスライドカップ（1B）の組立手段が、一方では、該外側ケース（1）の上部部分（1A）の円筒形側壁の内部表面の円形下縁部（21）付近でこの下縁部に沿って、直径方向に相対する丸味のついた肩部（37）を少なくとも二つ含むこと、そして他方では、スライドカップ（1B）には、該スライドカップ（1B）の軸心に対し直角に延在し、ロック用突起（39）の役割を果たすほぼ U 字形の自由端部を有する直径方向に相対するフック用突片（38）を少なくとも二つ形成する少なくとも二本のネジによって固定されたバネ部品（35）が具備されていることを特徴とする、請求項 11 に記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 17】

各肩部（37）の端部の一つに配置され、スライドカップ（1B）を組立て位置に設置する際にロック用ツメまたは突起（39）の回転運動を制限するストッパー（40）を含むことを特徴とする、請求項 16 に記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 18】

ロック用突起（39）の縁部およびツメの丸味のついた肩部（37）には、外側ケース（1）の上部部分（1A）とスライドカップ（1B）との組立ての際に、回転運動の終りでロックする相補的手段が備わっていることを特徴とする、請求項 16 または請求項 17 に記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 19】

上部部分（1A）とスライドカップ（1B）との相補的ロック手段が、ロック用突起（39）の U 字形状と、組立て用回転運動の終りで前記ロック用突起が自動的に係合する二つの収納部（41）をストッパー（40）と共に画定する外側ケース（1）の上部部分（1A）の内部に具備された直径方向に相対するピン（42）とによって構成されていることを特徴とする、請求項 18 に記載の刈払用回転ヘッド。

【請求項 20】

草刈機またはボーダートリマーまたはブラッシュカッターまたは動力鎌、ヘッジトリマ

ーなどの携帯型刈払機において、請求項 1 ～ 19 のいずれか一つに記載の刈払用ワイヤーの可撓性ストランドを使用する刈払用回転ヘッドが装備されていることを特徴とする、携帯型刈払機。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0019

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0019】

本発明によると、この目的は、外側ケースを含み、刈払用回転ヘッドの外側ケースの側壁内に設けられたオリフィスを貫通して刈払用回転ヘッド外側に半径方向に延在できるような形で該刈払用回転ヘッド内部に設置可能な可撓性の刈払用ワイヤーを二本使用する刈払用回転ヘッドにおいて、一方では原動機の駆動シャフトに対する結合用手段と、他方では前記外側ケースと回転的に連動し、前記外側ケースの内部に係合された刈払用ストランドの締結機構を支持するストランドホルダーアセンブリとを有する刈払用回転ヘッドであって、特に締結機構が、互いにおよび刈払用回転ヘッドの回転の軸心に対して平行な平面内で旋回できる状態で取付けられた挟持用カムを有すること、および、このストランドホルダーアセンブリが刈払用回転ヘッドの外側ケース内で軸心方向に並進運動できる状態で取付けられ、この外側ケースと前記締結機構とが相補的に配置され、こうして前記外側ケースと前記ストランドホルダーアセンブリとに対し反対方向の相対的な軸心方向運動を同時に印加することで；

ー 刈払用ストランドの位置づけおよび取出しを可能にするような形で挟持用カムを持ち上げるかまたは；

ー 刈払用回転ヘッド内での刈払用ストランドの固定を行なうべく前記カムを低下させることが可能になること、を特徴とする刈払用回転ヘッドによって達成される。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0032

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0032】

別の特徴的配置の一つによると、刈払用回転ヘッドは、動力に結合されることができ軸心方向の駆動シャフトを有し、この駆動シャフトは、締結機構支持体と回転的に連動している。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0033

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0033】

有利な一実施形態によると、外側ケースと締結機構支持体とは、回転的に連動している。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0035

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0035】

好ましい一実施形態によると、締結機構支持体と外側ケースとの回転結合は、外側ケースの内部間仕切りと連動しかつ刈払用回転ヘッドの回転の軸心に対し平行に配向された駆

動用スタッドを用いて実現され、これらの駆動用スタッドは、摺動できる状態で、締結機構支持体内、好ましくはこの締結機構支持体の少なくとも二つの相対する側面内に設けられた溝の中に係合されている。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0044

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0044】

締結機構支持体 2 は、外側ケース 1 と回転的に連動しており、この連動した組立体は、それを熱機関または好ましくは電動機または傘歯車の駆動シャフトに連結できるようにする結合用手段に固定されている。この結合用手段は、好ましくは、外側ケースの上部部分に具備された間仕切り 7 の上で、外側上方に延在する軸心方向のシャフト 6 により構成されている。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0052

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0052】

外側ケース 1 と締結機構支持体 2 とは、前述のとおり回転的に連動している。

【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0054

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0054】

一実施形態によると、締結機構支持体 2 と外側ケース 1 の回転結合は、外側ケース 1 の上部間仕切り 7 または側板の内部面と連動し、刈払用回転ヘッドの内部で刈払用回転ヘッドの回転の軸心に対し平行に配向された駆動用スタッド 12 を用いて実行され、これらの駆動用スタッド 12 は、締結機構 16－17－17a－17b の支持体 2 内、好ましくは前記支持体の相対する少なくとも二つの側面内、そしてより厳密にはこの支持体の大きい側面内に設けられた溝 13 の中に、摺動できる状態で係合されている。

れる。